



これからも
笑顔・元気・誠実に…

2007年4月22日に行われた「宝塚市議会議員選挙」で二期目の当選をすることができました。一人ひとりのつながりで広がったご支援の心の輪の温かさ、強さをしっかり胸に刻み、一生懸命がんばります。これからもどうぞよろしくお願いたします。

活動報告～抜粋～

4月

- 15日 市議会議員選挙告示
- 22日 市議会議員選挙 当選
- 26日 監査委員会議

5月

- 1日 議員総会
- 15日 臨時市議会（～16日）
- 25日 臨時市議会
- 28日 国際観光協会懇親会

6月

- 5日 6月定例市議会（～22日）
- 14日 参議院文教科学委員会傍聴(東京)
- 16日 阪神政策研究会
- 19日 アピオ活性化委員会
- 25日 図書館協議会
- 26日 連合北阪神フォーラム

7月

- 3日 教育予算学習会
- 10日 議会全員協議会
- 10日 少子・高齢者対策調査特別委員会
- 14日 宝塚市(次世代育成)育児フォーラム
- 18日 人権審議会
- 12日 参議院議員選挙（～29日）

8月

- 1日 母と女性教職員の会・全国集会(東京)（～2日）
- 3日 両性の自立と平等をめざす教育研究集会(東京)（～4日）
- 5日 みずおか俊一参議院議員国政報告会(神戸)
- 15日 反戦平和のつどい
- 22日 自治政策講座(東京)
- 29日 民主党女性議員ネットワーク会議

9月

- 1日 教育創造県民会議
阪神政策研究会
- 3日 少子・高齢化対策調査特別委員会
- 19日 9月定例市議会
- 22日 第8回駅前議会

8/5 みずおか俊一国政報告会(年金・医療・介護分科会)



北野 蓮舫議員

足立信也議員

松本剛明議員

6月定例会市議会報告 一般質問及び答弁～抜粋～

1. 子どもの読書推進計画について

子どもの読書推進や環境整備の取り組みは？

〈教育長答弁〉

推進計画策定中。幼少期から学齢期まで本が身近にある環境作りと、図書館と学校、保育所等の連携強化が必要である。

2. 環境学習・食育の推進について

①今年度開始の環境体験学習は命を大切にする心の育みの観点で重要だ。
②栄養教諭配置で地域や学校に応じた食育推進を。「食物アレルギー対応検討委員会」の設置は評価。

〈市長答弁〉

①子ども向けホームページでも環境関連ページを作成。

3. 教育の環境整備について

①研修の場としてのカリキュラムセンターは。

〈教育長答弁〉

「教職員パワーアップ支援室」において週1回指導主事が在席し若手教職員等を指導。多くの資料や教材作成機器も整備。さらに自主的な研修研鑽の場となるよう支援していく。

4. 公立高校入試制度について

宝塚の総合選抜は地域の仲間と豊かな高校生活が送れる等、大きな成果があったが、課題も顕在化。

総合選抜制度の性急な変更よりも、子どもや保護者の十分な議論が必要。

〈教育長答弁〉

制度の良さを生かしつつ自分の夢が実現できる高校生活が過ごせる選抜制度としていく必要あり。保護者代表や学校関係者等で組織する検討委員会の早急な設置が肝要。

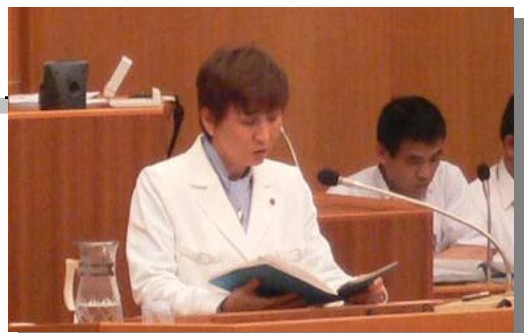
5. 移動支援の仕組みについて

カーボランティア組織の活動断念の経過は？

有償と見なされない経費のみのボランティアは可能。行政と地域で移動支援活動の再点検を要望。

〈健康福祉部長答弁〉

法律改正で自家用車の有償運送許可制になったこと等による



1. 教育行政・教育環境整備について

- ①岩井教育長の教育観と抱負は？
- ②宝塚の教育課題解決のためのビジョンは？
- ③学校図書館司書配置の展望は？
- ④給食費等徴収金滞納対策に市教委としてどう関わっていくのか

大人の格差社会を義務教育に持ち込まず教育の機会均等を図る上でも、就学援助制度の一層の充実が必要である。学校での対応には限界がある。市が直接関わっていくべきである。

〈教育長答弁〉

- ①「できることからやる」「教育に携わる者が誇りと責任を持つ」「子どもたちが学校が楽しいと思えるようにする」これらを柱に、現場の声を聞きながら連携を取り教育行政を進めていく。
- ②子どもの教育ニーズに合わせた手だてと予算確保が必要と考える。
- ③教員定員とは別枠に司書教諭配置を県に要望。学校図書館支援スタッフを5校に配置し、学習活動や図書ボランティアとの連携を図る。
- ④各学校を支援するため市内統一の督促方法等の取扱いマニュアルを作成する。

2. 放課後預かり「陽だまり」について

宝塚市立養護学校放課後預かり「陽だまり」の運営については、子ども未来部と教育委員会の連携と、さらに福祉サービス拡充も含めて、安定した環境整備を要望する。

3. 内部障がいへの理解について

内部障がいは「見えない障がい」のため誤解を受けやすい。説明負担軽減と社会的理解促進のため「ハートプラスマーク」の啓発と、駐車場の掲示等も再検討してはどうか。

〈市長答弁〉啓発実施について検討してきたい。

公共施設におけるオストメイトトイレ※の普及もすすめてほしい。

※オストメイト…大腸やぼうこうなどの病気治療のため外科手術により人工肛門や人工ぼうこうとなられた方々

内部障がい者に理解を深める、ハートプラスマークの啓発を！

文教生活常任委員会

□■山本南保育所の廃止条例案可決■□

「適切な引き継ぎ案を示し、保護者らの理解と合意を得ること」とする付帯決議も可決。

受託法人も決まりましたが、未調整の課題も山積。今後も注視していきます。

□■教育条件整備のための請願 採択■□



～女性議員7名で決議案提出！～

女性議員7名で話し合い、決議案を提出しました。各会派の代表者も発議者となって本会議で決議しました。また、市長へも同様の申し入れを行うことになりました。

□■宝塚市立病院の産婦人科存続を求める決議■□

少子化対策が最重要課題とされる昨今、自治体においても安心して子どもを産み、育てられる環境整備が求められている。宝塚市の年間出産件数は約2000人強であり、宝塚市立病院は出産のできる施設として大きな役割を果たしてきた。しかしながら、今回産婦人科の休診の方針が決定され、市民のあいだに不安が広がっている。宝塚市内において出産対応できる開業医が比較的充実しているとはいえ、リスクを抱えた妊産婦や周産期の患者にとって、手術施設の整った総合病院での産婦人科受診は必要不可欠である。また治療の必要な新生児への適切な対応も求められる。さらに、生涯を通じて女性が抱える特有の「婦人科疾患」を治療・手術できる医療機関も地域に不可欠である。

よって、宝塚市議会は宝塚市立病院の産婦人科存続を求めるものである。

以上決議する。



【水泳授業介助ボランティア】
プールで子どもたちと一緒に過ごしました。
本当に楽しかったです。



つじ泰弘さん当選（兵庫選挙区）
辻さんは、厚生労働のスペシャリストです。
活躍を期待しています！

活動トピックス

【足首骨折！】
9月のはじめに
右足首骨折。
たくさんの方に
助けていただいて
9月議会を乗り切
ることができまし
た。



教員の先輩である神本さんは民主党「次の内閣」子ども・男女共同参画担当大臣に就任



神本みえ子さん当選（比例区）

～風のココロ～

地球温暖化問題への取り組みが評価されたゴア前米国副大統領のノーベル平和賞受賞。
わたしたちにとっても意識を高めるよい機会となりました。未来のために、子どもたちのために身近なことから考え行動していきたいです。

◇発行人◇ 北野さと子
◇連絡先◇
〒665-0034 宝塚市小林2丁目 12-27-209
Tel&Fax 0797-73-4556
ホームページ <http://www.kitanosatoko.com/>